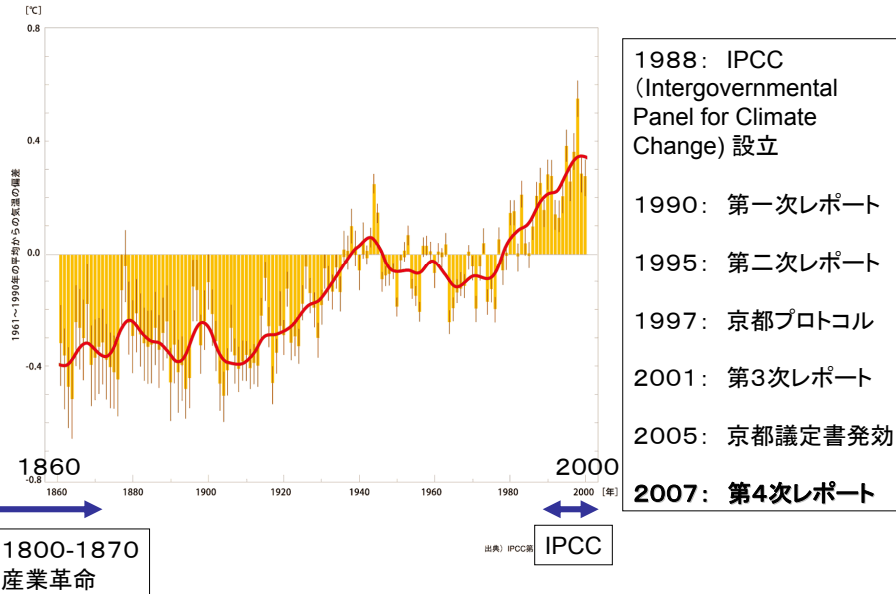


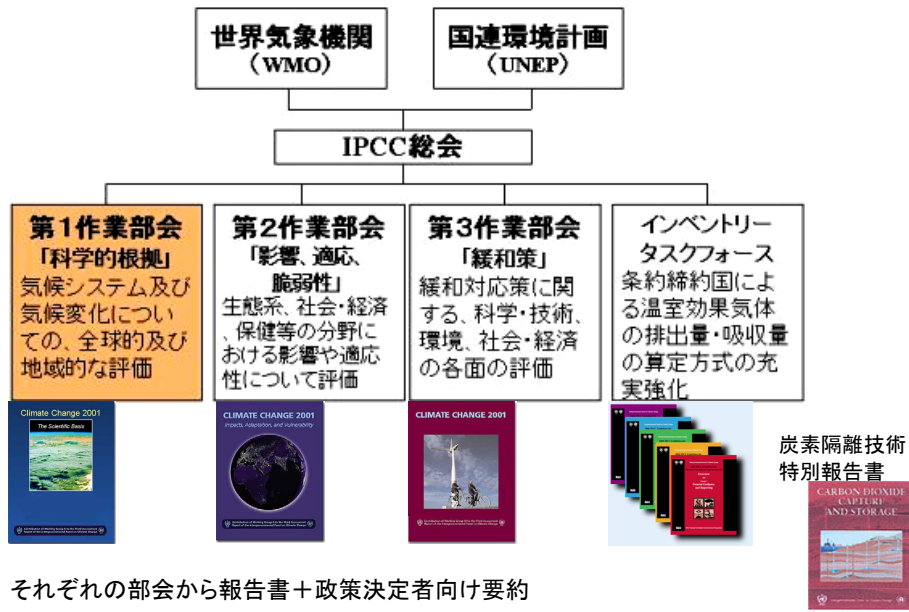
地球温暖化研究の歴史

- | | |
|--|--|
| 1800-1870: 産業革命 | 1979: World Climate Research Program (WCRP) 設立による気候変動研究の推進 |
| 1930s: 19世紀以降の温暖化の徴候 | 1988: IPCC (Intergovernmental Panel for Climate Change) 設立 |
| 1938: Callendarによる大気中CO2濃度増加による温室効果説 | 1990: 第一次IPCCレポート |
| 1963: Mollerによる水蒸気フィードバック効果(暴走温室効果) | 1992: 気候変動枠組み条約(FCCC) |
| 1967: Manabe&WetheraldによるCO2倍増による温室効果(2度) | 1995: 第二次IPCCレポート |
| 1968: Mercerによる南極氷床融解による海面上昇 | 1997: 京都プロトコル |
| 1975: ManabeらによるCO2倍増による気候変動予測 | 2001: 第3次IPCCレポート |
| | 2005: 京都議定書発効 |
| | 2007: 第4次IPCCレポート |

地球の平均気温の変化 (地球全体/過去140年)



「気候変動に関する政府間パネル(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)」



地球温暖化に対する議論

- なぜ、米国は京都議定書に批准しなかったのか？
 - 温暖化懐疑論、経済優先、南北問題、などなど

二つの立場

- 事実に基づく主張 (科学)
- 規範に基づく主張 (政治)

“正しい”行動を取らせることが政治の目的

何が“正しい”かの判断は主観的

政治家は行動を取らせるために、事実を曲げる

科学的根拠が、何が“正しい”かの唯一の客観的な判断材料